

# 東まつしま シルバーだより

第14号

平成25年1月11日発行

発行所 (公社)東松島市シルバー人材センター編集委員会  
宮城県東松島市小野字新宮前5番地  
TEL 0225(86)1097 FAX 0225(86)1277



齋藤理事長を囲んで地域班長の皆さん

謹賀新年

監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常務理事	副理事長	理事長
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事
門	佐々木	尾形	伊藤	丹野	嶋田	佐藤	紺野	松浦	菊地	奥田	伊藤	齋藤	
屋	義美	俊文	宏	美代子	和義	いよ子	聖二	正義	良大	俊郎	隆	壽朗	
征八郎													

新しい年を迎え  
本年もよろしく

お願い申し上げます

平成二十五年元旦



# 新年のごあいさつ



理事長 齋藤 壽朗

新年明けまして、おめでとうございます。

会員の皆様方には、健康やかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、早いもので東日本大震災の発生から、後二か月で二年になるうとしております。

この間、会員の皆様には、震災の影響が色濃く残る中、本当に変な状況を乗り越え、就業していただきましたこと、心から感謝申し上げます。

会員の皆様の頑張りにより、業績も順調に回復してきており、契約金額も震災前の状況に近づいてきております。また、会員についても昨年の三月末で二百三十三人まで減員になりましたが、東松島市から委託を

変わらぬ支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

市当局のご支援に対しまして、当センターとしてはこれまで以上に「就業の確保」、「生きがいの充実」、「社会参加の推進」を目指し、会員の知識、経験、技能等を生かしながら、積極的に施策を展開し、地域の復旧・復興に一定の役割を果たしてまいりたいと考えております。



東松島市長 阿部 秀保

# 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。会員皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には、市政並びに東日本大震災の復旧復興にご支援とご協力を賜り

そのためにも、地域住民の方々から、より一層の支持を得るため、これまで以上に質の高い業務を行い、魅力あるシルバー事業を展開していくことが最重要課題となります。

また、震災で被災し職を失った高齢者の方々の入会を促進し、就業の場を提供いたしましたして、健康で元気な働き手になってもらうことも大切だと思っております。

まして、心より御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復興に向け『東松島市復興まちづくり計画』のもと、「一般社団法人東松島みらいとし機構」の設立や、「復興まちづくり整備事業着手式」が行われるなどそれぞれ復興事業を着実に進めてまいりました。今後

も「あの日を忘れずともに未来へ 東松島一心」をスローガンに掲げ、全力で復

役職員を始め、会員の皆様方と一丸となってシルバー事業を推進してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

結びに、会員の皆様方を始めご家族の皆様が、ご健康で良い一年でありませう、ご祈念を申し上げます。まして新年のあいさつと致します。

興のまちづくりに取り組んでまいります。

東松島市の高齢化率は二三・二%と、市の人口に占める割合は高まっております。高齢者の方々をはじめ市民皆様の豊富な知識と経験、技能等を地域で活かしていただくことが、本市が復旧・復興していく大変大きな活力になります。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 新年を迎えて

安全・適正就業委員長 菊地良大



新年明けまして、おめでとうございます。

皆様にはつつがなく希望に満ちた新年を迎えられ、健康と家運隆昌をご祈念なされたことと拝察申し上げます。当安全・適正就業委員会の業務運営につきましては、日頃から理解と協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この数年、超高齢化社会、人口減少化社会にあつて、抜本的な高齢者施策と労働力の再構築が話題になる中、私達が培った知識や経験・ノウハウ等を生かすことが求められ、私達の役割が益々重要視されており、これに心える為には、安心・安全の就業が基本であると考へます。また、シルバー

人材センター事業の原点に立ち返り「自主・自立・共働・共助」の基本理念を常に念頭におき、日頃より健康を第一義におき、自主管理を徹底していただきたいと切に願うものです。第二

には、健康状態がおかしいなど感じたら就業を中止する。第三には、就業内容に不明な点を感じた場合は、リーダー、センター事務局に問い合わせをするなどして、就業終了後発注者との間に、トラブル等発生しないようにし、ストレスなど蓄積させないことも大切なことです。

さて、本年における安全・適正就業推進計画を樹立致しました。

- 一、安全管理体制の確立
- 二、事故防止対策の推進
- 三、健康管理の推進
- 四、安全意識の啓発及び高揚
- 五、国等の提唱する交通安全運動及び火災予防運動への参加

この五項目は、関連し全て大事なことです。特に重要な項目は、事故防止と健康管理の項目です。当委員会では、次の三点を目標に掲げ強力で推進することに致しました。

前年は、六月から十月まで十七回、各委員の方々により、現場の巡回指導を実施していただきました。その他、安全保護具の着用状況並びに使用機材の使用状況等についても、特に指導はなく正しく安全に使用しており、今後においても継続をお願い致します。

本年におきましても、会員一致団結して無事故を目指すと同時に、私達は微力でありませんが、一日でも早く復興するよう培ってきたノウハウを駆使し邁進していただきたいと思います。よろしくお願いします。よろしくお願ひ致します。無事故を祈念し「就業は、機材の点検、正しく使用」を、合言葉として結びと致します。

## 総務部会の活動について

総務部会長 伊藤 隆

現在、当センターでは総務、事業、広報の三部会があります。代表して総務部会の活動状況を報告させていただきます。

まず、メンバーの紹介ですが、副部会長の松浦正義理事、部会員として、嶋田和義理事、中井輝雄班長、中田義美班長、五野井憲班長そして私の六名です。

次に活動内容ですが、昨年の七月から十月までの間に四回会議を行い一、職域班の編成(草刈、草取の班編成)二、福利厚生(視察研修、新年会)について協議してまいりました。

一、職域班の編成については、平成二十三年度から職域班として植木班がスタートしておりますが、草刈、草取についても職域班として編成し、作業効率のアップ、スムーズな作業消化、新入会員の指導、全体のレベルアップ等を図るため協議してきました。

この為、草刈、草取に従事している会員の中から、代表し九名の方から貴重な意見を拝聴致しました。誠にありがとうございました。ご意見を基に総務部会で活発な議論を行い、本年四月から除草班として班編成を

することに決定いたしました。二、福利厚生については、視察研修旅行として、日帰りコースと一泊コースを計画いたしました。残念ながら一泊コースは参加者が少なく中止となりましたが、日帰りコースには二十六名が参加し、十一月十八日に実施いたしました。

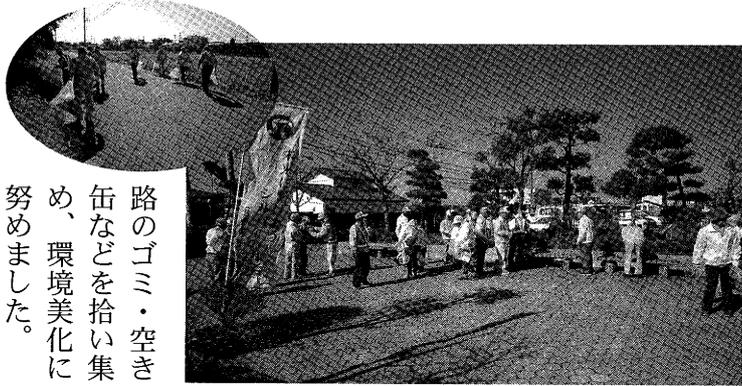
また、一月二十日、JAいしのまき矢本支店で新年会を計画いたしました。会員百名以上の参加を予定しておりますので、ご協力の程お願い申し上げます。

以上、これまでの主な活動内容を簡単ではありますが、ご報告申し上げます。今後共総務部会の活動にご協力とご理解を頂きます様お願い申し上げますと共に、会員各位のご多幸をお祈り申し上げます。

# 「シルバーの日」 in 東松島 普及啓発と清掃奉仕活動を実施

「全国一斉シルバーの日」である十月二十日(出)に、会員八十三名が参加し、普及啓発活動と清掃奉仕活動を実施しました。

普及啓発活動として、市内大型店二カ所で買い物客に声掛けし、チラシ・ポケットティッシュ等を配付して、シルバー人材センターの存在をアピールし、普及啓発と会員の勧誘に努めました。また、清掃奉仕活動では、市役所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道



路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。

昨年は震災の影響で中止となり、本年は会員の参加も例年と比べて少なかつたが、一生懸命普及啓発活動と清掃奉仕活動に努めておりました。

## 市長へ支援の要請

八月二日、東松島市役所を訪問し、阿部市長に対して、齋藤理事長より「高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援の要請」を行いました。

当日は、センターから齋藤理事長、伊藤副理事長、奥田事務局長が出席、東松島市からは阿部市長、及川産業部長、小林商工観光課長が出席いたしました。センターからは、これま

で取り組んできた人員の削減、経費支出の見直し等の運営経費の合理化の内容を説明し、市からの補助金の確保と公共事業の発注について要請をいたしました。

阿部市長からは、運営経費の合理化については理解した。高齢者の生きがい対策として必要な事業であることから、今後も支援して行くとの大変有り難い言葉を賜りました。

## 事務局からのお知らせ

「年金現況届」等の記入及びそれ以外の様々な書類等への記入上の注意

皆様が毎年提出している年金等の現況届等の中に「職業」という欄がありま

は就業先の会社名を記入しないでください。又それ以外の様々な書類等も同様です。

皆様が、雇用によってシルバー人材センターに雇われたものではありません。自分自身の意思により入会、会員登録し臨時的・短期的な就業をしているのですか

ら、その様な職業欄に記載するときは「無職」となります。記入を間違えますと、社会保険事務所から事務局に対し様々な指摘を受けるばかりか、各関係機関にご迷惑がかかります。注意していただきますようお願いいたします。詳しくは事務局までご相談ください。



# 会員の動向

## ▼新会員の紹介

(敬称略)

平成二十四年四月

真籠 勝信 大塩班  
 會田ハマ子 大溜班  
 佐藤まき子 大溜班  
 黒須みよ子 小松班  
 三浦 亨子 小松班  
 阿部 幸子 下町一班  
 浅野 裕子 下町一班  
 伊藤さつ子 上納横沼班  
 石川つやこ 上納横沼班  
 阿部 悦子 上納横沼班  
 佐々木紀子 北赤井班  
 松浦 香代 小松班  
 森 喜久子 南赤井二班  
 佐々木直子 南赤井一班  
 佐々木善吾 大溜班  
 三浦サイ子 立沼道地班  
 今野美津子 上町班  
 狩野 晃子 上河戸班  
 岩井みゑ子 立沼道地班  
 内海 牧子 亀岡洲崎班  
 櫻井佐知子 大塩班  
 大崎よう子 大塩班  
 香取美江子 大塩班  
 内海 孝子 小野一班  
 志野 栄子 小野一班

平成二十四年五月

大熊 年子 南赤井二班  
 津田とも子 大曲浜班  
 土居新次郎 大溜班  
 内海はるみ 小松班  
 菅原 和夫 亀岡洲崎班  
 尾形 悦子 宮戸班

平成二十四年六月

茂木 忠 小野一班  
 浅野 健一 浅井中下班  
 大友 貞夫 小野二班  
 本田 義治 大塩班  
 阿部 昭一 上納横沼班  
 阿部 咲子 上納横沼班

平成二十四年七月

佐々木絹子 小野二班  
 佐々木喜信 下町二班  
 千葉 忠吉 上納横沼班  
 鈴木 茂男 上納横沼班  
 阿部 修一 大塩班  
 松浦 忠義 小松班  
 渡辺 富雄 上納横沼班  
 島津 昌長 上納横沼班  
 日野 長介 貝田筒場班  
 石丸みき子 大塩班

平成二十四年八月

浅野 光正 下町二班  
 阿部一二三 南赤井一班  
 鈴木 克男 大溜班  
 三浦千枝子 上町班  
 熊谷 源 小松班  
 阿部 隆志 南赤井二班  
 小沢 亀雄 南赤井二班

平成二十四年九月

今井 健治 南赤井二班  
 保住 勝司 小松班

平成二十四年十月

高橋 幸男 上町班  
 千葉 正司 南赤井二班  
 橋本 清子 南赤井二班

平成二十四年十一月

軽部 桂子 南赤井二班  
 木村 勝一 大塩班  
 遠藤 芳子 上河戸班  
 遠藤 節子 小野一班  
 安住 昭一 貝田筒場班  
 安住 良子 貝田筒場班

## ▼退会された方々

(敬称略)

平成二十三年五月

萱場 熊治 大溜班  
 成澤かつゑ 大塩班  
 千葉嘉寿子 小野二班  
 土井 久義 亀岡洲崎班

平成二十三年六月

内海 和雄 大塩班  
 土井 愛子 大塩班  
 友野 佳幸 東名班  
 三浦 直子 下町二班  
 尾形 義久 南赤井二班

平成二十三年七月

小野 徹也 亀岡洲崎班  
 木村 豊 大塩班  
 内海 律子 上納横沼班

平成二十三年八月

柴田 泰男 北赤井班  
 鈴木 茂男 上納横沼班  
 渡辺 富雄 上納横沼班

平成二十三年十月

村田 正治 貝田筒場班  
 高橋 敬治 上町班  
 渡辺 忠雄 北赤井班  
 酒井 久夫 小松班  
 最上 俊助 上町班  
 武沢 典幸 南赤井一班

平成二十三年十一月

田島 幸一 大溜班  
 及川 義三 上納横沼班  
 佐々木秀子 北赤井班  
 二宮 進 東名班  
 櫻井かね子 東名班  
 佐藤たむ子 下町一班

平成二十三年十二月

阿部 繁 亀岡洲崎班  
 柴崎 藤雄 南赤井二班

## ★ 除草班の班員募集について ★

平成25年4月から草刈、草取業務を行う会員で、除草班を編成することになりました。草刈、草取業務については、本年度お客様の受注に対して、対応できない状況が続き、お客様に大変ご迷惑をおかけしました。

このことから、職域班として組織編成し、機動力のアップ、計画的な業務の推進、班員の就業能力の向上等を図り、お客様の受注に速やかに対応できる体制を構築するものです。

つきましては、草刈、草取の就業を希望する会員の皆様は、1月31日までに、地域班長または事務局に申し出て下さい。

## 計報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます。

上納横沼班

鈴木 治 人様

(平成二十四年五月十四日逝去)

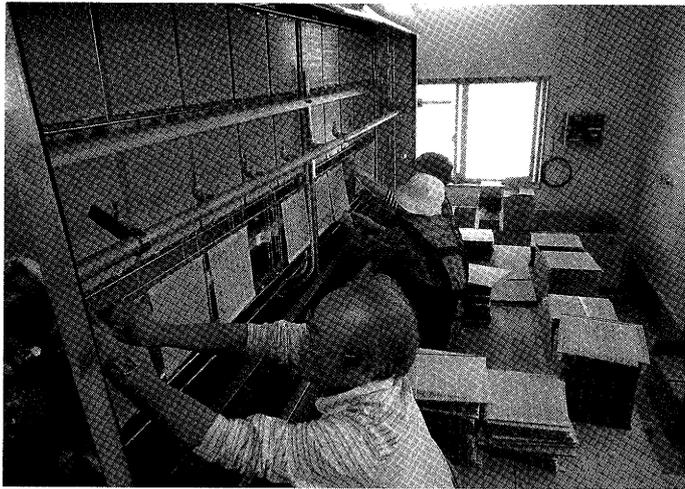
# みんなの広場

## 浜市の復興海苔に夢一步

小野一班 嶋田和義

センターから浜市海苔生産組合の仕事を頼まれ、てつきり摘んだ生海苔を海苔簀に張り付ける作業と思いきみ、長靴とビニールの前掛けを用意して張り切って行きました。

しかし、実際は海苔簀を自動海苔乾燥機に張り付け



る作業でした。正直、少しがっかりでした。一日目は素手で作業をしたが一時間も経過すると親指の爪から血がにじんできました。痛みをこらえて悪戦苦闘しながら何とか一日目を終え、このままでは指の痛みで明日からの作業が出来なくなると思いました。

「必要は発明の母」とはよく言ったもので仕事を続けるためには何か小道具が必要と思いい、二日目にはスプーン、マイナストライバー、かきむきナイフ、網針等で試してみました。結局グリップが太くて短めのマイナストライバーが最適であることが分かり、それからは作業がスムーズに

進み、そして指、爪にも負担がかからなくなりました。

浜仕事で真っ黒に日焼けした見るからに人の良さそうな海苔漁師の方が、定置網漁で忙しい仕事の合間を縫って作業所に時々顔を見せてくれました。作業の進み具合を気にしながら「ご苦労様」とねぎらいの言葉を掛けられると疲れも吹っ飛んで、何故かその後は作業能率が一段と上がりました。

会員四人でシフトを組み、毎日三人で作業を行います。シルバーの名の如く、年齢的にはとくに角のつれた会員同士だったので、和やかな雰囲気の中で楽しく働く事が出来ました。

復興に向けて懸命に頑張っている浜市の漁師の方々の心意気に、微力ながら協力出来た事が嬉しく、四万枚の海苔簀を張り終えた時には、小さな達成感と大きな充実感を覚えました。

最後に浜市の美味しい海苔が沢山採れる事を願うばかりです。浜市の海苔とかけ、読売巨人軍ととく。その心は……どちらも日本一。

## 伐木等の業務に係る特別教育を受講して

浅井中下班 浅野健一

シルバー人材センターでは、さまざまな仕事をする機会があり伐採のことも学んで仕事に生かしたいと思いい受講しました。

チェーンソーを使うのは初めてなので不安でしたがチェーンソーの取り扱いや伐採のやり方についての話を聞き、またチェーンソーで丸太を切る実習をするなどして不安が解消されました。

講習二日目の午後は、山に入って立ち木の伐採が予定され楽しみにしていましたが、風が強くと伐採は危険ということで中止になったのは残念でしたが広場で丸太を立ててのチェーンソー



による伐採の実習は大変勉強になりました。

チェーンソーは、ガイドバーの長さの三倍の太さの木をも切ることが出来ると聞き驚き、また講師が一抱え以上もある丸太を意図もたやすく切るのを見てチェーンソーの威力を実感するとともに、鋭い刃が高速回転するチェーンソーは危険な道具でもあることを常に心得て取り扱わなければならないと思いました。

伐採は、山ばかりではなく住宅地などでやることもあり風向きや周囲の状況を考え安全第一で伐採のやり方や方向を決めてやらなければならない方向に倒れ、大変な事故につながる危険な仕事であることを講習で学びました。

これらのことを踏まえつつ、現場でチェーンソーを自由に使えるようになることを楽しみに、講習で学んだことを生かし技能の向上に努めて行きたいと思えます。

# 新班長になって

立沼道地班長 佐々木 美智子

今年も初雪が早くとつても寒さ厳しい毎日が続いておりますが、会員の皆様、お仕事ご苦労様です。

私事ですがシルバー人材センターに入つて早九年になります。月日の経つのは本当に早いものですね。今回は地域班長、本当に

大変な役割を引き受けてしまいましたが、皆様のご協力でなんとか前半を終えようとしています。大変有難うございました。

この間は楽しい岩手県への研修旅行、私の趣味を生かしてカラオケの操作、皆様に盛り上げて頂いて楽し

い一日を過ごさせて頂きました。今度もつと多くの参加者のもとで頑張りたいと思います。

これからは自分の事は抜きにして、何でも仕事とか人間関係、困りごと、何でも相談出来る班長として、頑張りたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

# 新会員になって

小松班 熊谷 源

八月より新会員とさせて頂きました。会社を退職した当時は暇を持て余し、どうしたらと思ひ、退屈し過ぎに彼方此方と遊び出歩き、さりとて退屈している時でも、

運動及び歩け歩けもおついで、健康のためにも体を動かさねばと常に感じていました。

七月初め図書館に行く他のハローワークのチラシの中に、ひと際目だったピンクのシルバー人材センター

の会員募集のチラシを見つけた、家に持ち帰り読みみるも、応募にはなかなか踏み切れる決心がつかかねておりました。

そんな時、昼中ゴロ横でテレビを見ていると、瓦礫処理、猛暑の中でヘルメット・マスク姿のおんちゃん、

おばちゃん達が、一生懸命働く姿が放映されるのを見て、自分ももう一度踏ん張り、仕事を頑張つて試みるかと思つているところに、

センターからの訪問で仕事の受託、会員の募集等の話を聞き、会員としてお世話になる決心がつかしました。

家での仕事では、自分なりに一人前・人並みには出来るかと自負してお世話になった訳ですが、いざ皆さんと一緒に仕事に従事して見ると、まだまだ自分の要領の悪さ、幼稚さが身にしみて感じ入りました。

一緒に働く会員の皆様には、迷惑の掛け通しで恥じ入りますが、今後、自分なりに一生懸命頑張りますので、センターの会員の皆様、よろしくお願い致します。



## 事業実施報告

(平成24年4月～平成24年11月末累計)

( )内は前年対比

会員数	279名	(107%)
受託件数	1,506件	(128%)
契約金額	7,506万円	(126%)
就業延人員	18,266人	(136%)
就業率	89.6%	(107%)

# 新会員になって

下町一班 浅野 裕子

四月に入会し、主に学童保育(土曜日と長期休み期間の八時から十時までの二時間)の業務を行っており、朝八時過ぎ、子ども達が学習道具とお弁当を持ってやってきました。自習を見守つたり、お話をしたり、一緒に遊びの輪に加わったりします。わんぱく盛りの男の子や優しい女の子達、一緒に居ると自然と笑みがこぼれます。

また、引越しのお手伝いもさせて頂いた頂きました。依頼主の方の人柄に触れ、

見守られ楽しく作業をさせて頂いた頂きました。お役にたつたのかと不安な思いもありましたが、「戻るときまたお願いしたい。」と声をかけていただきました。一緒に仕事をしている会員や依頼主の方の素敵な人、生やパワーを感じたりと、充実した時間を過ごさせていただきました。今後も健康に気をつけ、続けていきたいと思ひます。

センターの皆様、会員の皆様、これからもよろしくお願ひ致します。

# 視察研修旅行を実施して

理事 松浦正義

東日本大震災より一年八ヶ月が過ぎ、総務部会において、「負けてたまつか！頑張っぺし！」と視察研修旅行を実施しよう！と決まり、理事会の承認を得て、旅行者はJ・Aいしのまき旅行

センターにお願ひし、一泊は飯坂に、日帰りは世界遺産平泉としました。互助会が解散し助成金がなく参加費を出来るだけ少なくなるように送迎バスのある所と限定しましたが、一泊は一



万七千円と高くなり、申込が少なく中止となりました。日帰りに二十六名が参加、前日の雨もあがり十一月十八日朝、全員元気一杯に出発し、齋藤理事長より御祝儀伊藤副理事長からは缶ビール、つまみの差し入れがあり、バス車中、



美味しく頂きながら毛越寺を目指しました。

約九百五十年前に奥州藤原氏が開き、当時、我が国第一の栄華を誇った地域を見学、小雨のため早々に切り上げ、瑞泉閣で昼食・懇親会を開催しました。

中井輝雄班長の絶妙な司会でカラオケ、伊藤宏理事、中村栄正班長、佐々木美智子班長さん達のプロ顔負けの歌声に感動、温泉に入り種々懇談、あつ！という間に時間が過ぎ、全員で記念撮影し、帰路につきました。来年も計画しますので会員皆様方の参加を希望しております。

本年もよろしく  
お願いいたします。

## 地域班長

上町班	中井輝雄
上河戸班	内笠井進
下町一班	菊地良大
下町二班	小野敏
立沼道地班	佐々木美智子
小松班	松浦正義
上納横沼班	五野井憲
貝田筒場班	加納正治
北赤井班	伊藤隆
南赤井一班	渡辺清次
南赤井二班	中村崇正
大塩班	辺見千代夫
小野一班	小林世明
小野二班	伊藤宏
上下堤班	高橋勝栄
東名班	中田義美
宮戸班	小野邦昭
事務局長	奥田俊郎
総務係長	沼倉ひろ子
業務係	齊藤三三代
"	及川洋平
就業開拓員	菅原由美子
"	山村淳子

## 編集後記

昨年十一月、新たに機関紙編集委員八名が委嘱され、会報の発刊に向けスタートを切りました。

今回の発刊にあたり、阿部市長さん始め沢山の皆様から寄稿をいただき大変感謝しております。お陰様でどうにか新年号の発行にこぎつけました。

広報部会では、センターの普及・啓発事業の推進に向け更なる努力を重ねてまいります。

今後とも会員皆様方の日頃感じている生の声をより多く掲載し、センターの運営に反映させたく考えていますので、時を問わず、気楽にセンター事務局まで、ご寄稿下さいますよう、よろしくお願ひ致します。(伊藤)

編集委員長	伊藤宏
編集委員	丹野美代子
"	尾形俊文
"	佐々木美智子
"	辺見千代夫
"	高橋勝栄
"	松浦正義
"	小林世明